

## 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2009年9月28日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、日本を除くアジア諸国・地域のソブリン債券（国債、政府保証債等）および準ソブリン債券（政府の出資比率が50%を超えている企業の発行する債券）を中心に投資を行い、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	ペ ビ ー ファ ン ド	アジア・ソブリン・オープン・マザーファンド受益証券
	マ ザ 一 ファ ン ド	日本を除くアジア諸国・地域のソブリン債券および準ソブリン債券
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本を除くアジア諸国・地域のソブリン債券および準ソブリン債券を主要投資対象とし分散投資を行います。</li> <li>ソブリン債券・準ソブリン債券からの安定した利子収入の確保および信託財産の成長を目指して運用を行います。</li> </ul>	
主な組入制限	ペ ビ ー ファ ン ド	<ul style="list-style-type: none"> <li>マザーファンドへの投資割合は、制限を設けません。</li> <li>外貨建資産への実質投資は、制限を設けません。</li> <li>ソブリン債券以外への実質投資は、取得時において、当ファンドの純資産総額の35%以内とします。</li> <li>同一企業が発行する債券への実質投資は、当ファンドの純資産総額の10%以内とします。</li> <li>同一国・地域が発行する債券への実質投資は、取得時において、当ファンドの純資産総額の35%以内とします。</li> </ul>
	マ ザ 一 ファ ン ド	<ul style="list-style-type: none"> <li>外貨建資産への投資は、制限を設けません。</li> <li>ソブリン債券以外への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の35%以内とします。</li> <li>同一企業が発行する債券への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。</li> <li>同一国・地域が発行する債券への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の35%以内とします。</li> </ul>
分配方針	毎月22日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。原則として、配当等収益や分配対象額の水準等を考慮し、安定した分配を継続することをめざします。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないこともあります。）	

## 運用報告書（全体版）

アジア・ソブリン・オープン  
(毎月決算型)

第185期（決算日：2025年2月25日）

第186期（決算日：2025年3月24日）

第187期（決算日：2025年4月22日）

第188期（決算日：2025年5月22日）

第189期（決算日：2025年6月23日）

第190期（決算日：2025年7月22日）



## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「アジア・ソブリン・オープン（毎月決算型）」は、去る7月22日に第190期の決算を行いましたので、法令に基づいて第185期～第190期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
フリーダイヤル

0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00、  
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様のお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- 一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準価額				参考指數	債組入比率	債先物比率	純資産額
	(分配落)	税分	込配	み金	期騰	中落率	期騰	中落率
161期(2023年2月22日)	円 8,337	円 25		% 0.9	24,231	% 0.9	% 98.1	% — 百万円 1,525
162期(2023年3月22日)	8,236	25		△0.9	24,066	△0.7	96.6	— 1,507
163期(2023年4月24日)	8,381	25		2.1	24,552	2.0	97.2	— 1,529
164期(2023年5月22日)	8,589	25		2.8	25,307	3.1	97.0	— 1,565
165期(2023年6月22日)	8,781	25		2.5	25,894	2.3	96.3	— 1,591
166期(2023年7月24日)	8,819	25		0.7	26,146	1.0	96.5	— 1,600
167期(2023年8月22日)	8,818	25		0.3	26,227	0.3	96.8	— 1,604
168期(2023年9月22日)	8,721	25		△0.8	26,178	△0.2	96.9	— 1,584
169期(2023年10月23日)	8,640	25		△0.6	26,070	△0.4	96.0	— 1,585
170期(2023年11月22日)	8,929	25		3.6	27,114	4.0	97.4	— 1,621
171期(2023年12月22日)	8,709	25		△2.2	26,550	△2.1	98.0	— 1,551
172期(2024年1月22日)	8,898	25		2.5	27,324	2.9	96.2	— 1,583
173期(2024年2月22日)	9,040	25		1.9	27,834	1.9	96.3	— 1,596
174期(2024年3月22日)	9,085	25		0.8	28,120	1.0	95.9	— 1,589
175期(2024年4月22日)	8,992	25		△0.7	27,940	△0.6	97.6	— 1,569
176期(2024年5月22日)	9,184	25		2.4	28,637	2.5	96.2	— 1,589
177期(2024年6月24日)	9,311	25		1.7	29,237	2.1	96.6	— 1,596
178期(2024年7月22日)	9,300	25		0.2	29,304	0.2	96.4	— 1,581
179期(2024年8月22日)	8,994	25		△3.0	28,423	△3.0	97.0	— 1,514
180期(2024年9月24日)	9,088	25		1.3	28,926	1.8	97.7	— 1,525
181期(2024年10月22日)	9,272	25		2.3	29,672	2.6	97.5	— 1,549
182期(2024年11月22日)	9,255	25		0.1	29,722	0.2	97.0	— 1,547
183期(2024年12月23日)	9,343	25		1.2	30,121	1.3	97.0	— 1,541
184期(2025年1月22日)	9,275	25		△0.5	30,092	△0.1	96.7	— 1,523
185期(2025年2月25日)	9,056	25		△2.1	29,448	△2.1	96.9	— 1,486
186期(2025年3月24日)	9,024	25		△0.1	29,392	△0.2	97.4	— 1,473
187期(2025年4月22日)	8,612	25		△4.3	28,317	△3.7	96.2	— 1,395
188期(2025年5月22日)	8,936	25		4.1	29,473	4.1	96.4	— 1,446
189期(2025年6月23日)	9,085	25		1.9	30,002	1.8	97.1	— 1,470
190期(2025年7月22日)	9,256	25		2.2	30,667	2.2	96.3	— 1,493

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指數を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 参考指数は、FTSE世界国債インデックスの現地通貨建て国別サブインデックス（シンガポール、マレーシア、フィリピン、インドネシア、韓国、台湾、タイ、中国）の基準日前営業日の各指數とJ.P. Morgan GBI-EM Broad India（インド・ルピー建て、ヘッジなし）の基準日前営業日の指數を基準日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により三菱UFJアセットマネジメントが円換算したうえ等ウエイトで合成し、当ファンド設定日を10,000として指數化したものです。なお、2022年8月1日以降、参考指數の国別サブインデックスの内、台湾を外し中国を追加して連続させて指數化しています。

各国の国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、各国国債の総合収益率を指數化した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

J.P. Morgan GBI-EM Broad India（インド・ルピー建て、ヘッジなし）：情報は、信頼性があると信じられる情報源から取得したものですが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指數は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指數を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2015, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 外国の指數は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	参 考 指 数		債組入比率	債券物比率
			騰 落 率	騰 落 率		
第185期	(期 首) 2025年1月22日	円 9,275	% —	30,092	% —	% 96.7
	1月末	9,262	△0.1	29,975	△0.4	96.6
	(期 末) 2025年2月25日	9,081	△2.1	29,448	△2.1	96.9
						—
第186期	(期 首) 2025年2月25日	9,056	—	29,448	—	96.9
	2月末	8,946	△1.2	29,091	△1.2	96.7
	(期 末) 2025年3月24日	9,049	△0.1	29,392	△0.2	97.4
						—
第187期	(期 首) 2025年3月24日	9,024	—	29,392	—	97.4
	3月末	8,993	△0.3	29,354	△0.1	96.1
	(期 末) 2025年4月22日	8,637	△4.3	28,317	△3.7	96.2
						—
第188期	(期 首) 2025年4月22日	8,612	—	28,317	—	96.2
	4月末	8,743	1.5	28,728	1.5	96.0
	(期 末) 2025年5月22日	8,961	4.1	29,473	4.1	96.4
						—
第189期	(期 首) 2025年5月22日	8,936	—	29,473	—	96.4
	5月末	9,027	1.0	29,712	0.8	96.3
	(期 末) 2025年6月23日	9,110	1.9	30,002	1.8	97.1
						—
第190期	(期 首) 2025年6月23日	9,085	—	30,002	—	97.1
	6月末	9,109	0.3	30,097	0.3	95.8
	(期 末) 2025年7月22日	9,281	2.2	30,667	2.2	96.3
						—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

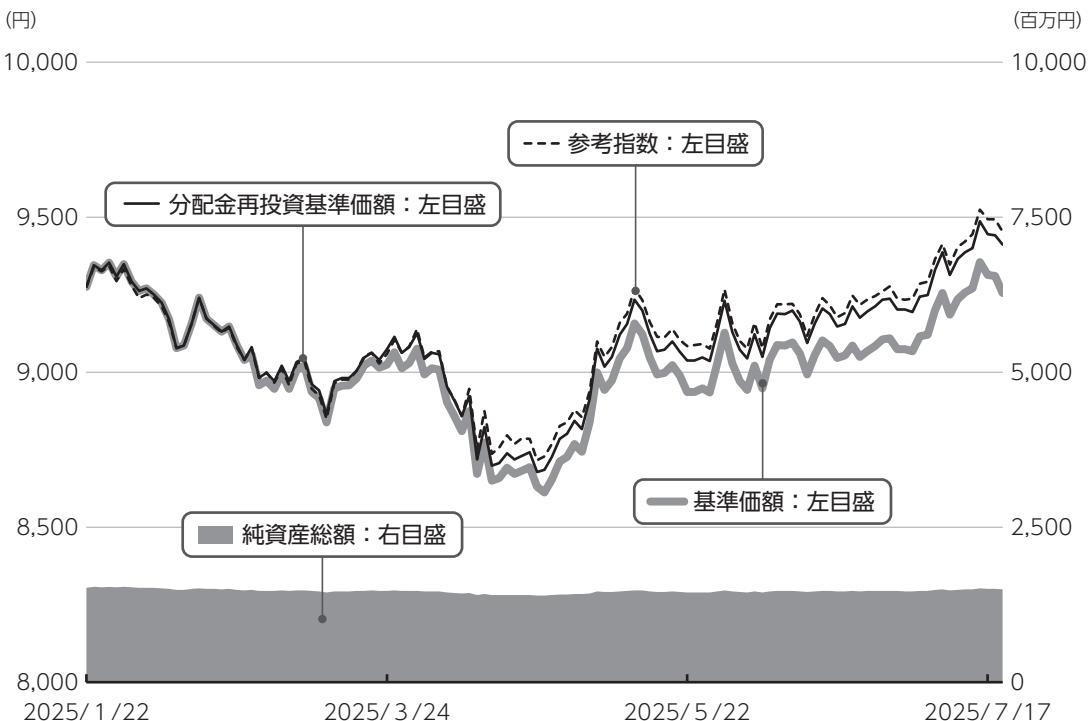
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第185期～第190期：2025年1月23日～2025年7月22日

## 〉当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第185期首	9,275円
第190期末	9,256円
既払分配金	150円
騰 落 率	1.5%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

**基準価額の動き**

基準価額は期間の初めに比べ1.5%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

**〉基準価額の主な変動要因****上昇要因**

シンガポールやインドネシア、タイなど多くの投資国で金利が低下したことが、基準価額の上昇要因となりました。

**下落要因**

インドやインドネシアなどの通貨が対円で下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

第185期～第190期：2025年1月23日～2025年7月22日

## 》投資環境について

### ▶ 債券市況

多くの投資対象国・地域の金利は低下しました。

インドやインドネシアなどでは、インフレ率が低下したことにより中銀が利下げを行ったことなどから、金利は低下しました。

中国では、旧正月明けに市中資金が吸收されたことや、財政支出を拡大する政策を示したことなどから、金利は上昇しました。

### ▶ 為替市況

投資対象国・地域の通貨は円に対してまちまちな動きでした。

マレーシアリングットは、貿易関税の引き上げにより中国系企業などによる対米輸出への課税強化が懸念されたものの、建設関連など国内景気が堅調に推移していることなどから、対円で小幅に上昇しました。

フィリピンペソは、経常赤字が続いていることや中銀が利下げを行ったことなどから、対円で下落しました。

## 》当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ アジア・ソブリン・オープン（毎月決算型）

アジア・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象としており、実質的な運用はマザーファンドで行っています。

### ▶ アジア・ソブリン・オープン マザーファンド

日本を除くアジア諸国・地域のソブリン債券（国債、政府保証債、国際機関債などをいいます。）および準ソブリン債券（政府の出資比率が50%を超えている企業の発行する債券をいいます。）を主要投資対象とし、これらの債券を高位に組み

入れて運用しました。

マレーシアやインド、インドネシアなどの債券組入比率を高めとしました。

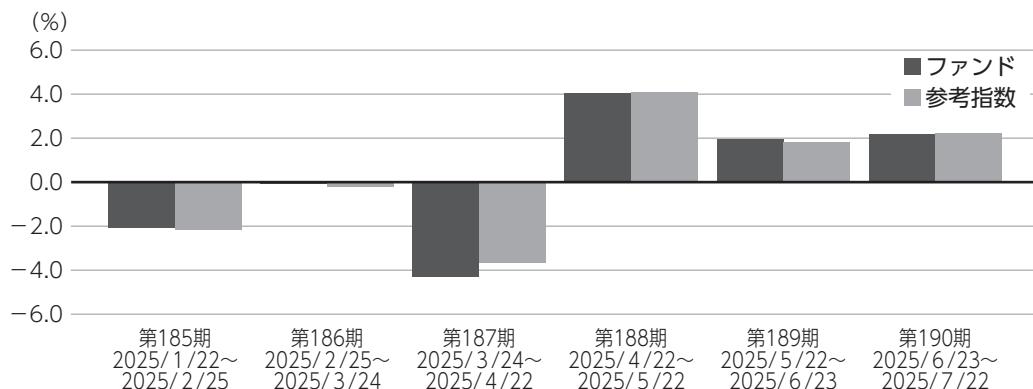
外貨建資産について、対円での為替ヘッジは行いませんでした。なお、米ドル建債券等の外国通貨建債券に投資した場合には、実質的に債券発行国（アジア諸国・地域）の自国通貨建てとなるように為替予約、直物為替先渡取引（NDF）などによる為替取引を行いました。

\*直物為替先渡取引とは、一種の外国為替先渡取引であり、決済時に元本の受け渡しを行わずに、取引時に決定した取引レートと決済レートの差および元本により計算した額を、米ドルなどに換算して、受け渡しを行う取引です。

第185期～第190期：2025/1/23～2025/7/22

## 〉当該投資信託のベンチマークとの差異について

### 基準価額と参考指標の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指標の騰落率との対比です。

参考指標は、アジア国債インデックス（円ベース）です。

## 》分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第185期 2025年1月23日～ 2025年2月25日	第186期 2025年2月26日～ 2025年3月24日	第187期 2025年3月25日～ 2025年4月22日	第188期 2025年4月23日～ 2025年5月22日	第189期 2025年5月23日～ 2025年6月23日	第190期 2025年6月24日～ 2025年7月22日
当期分配金 (対基準価額比率)	<b>25</b> (0.275%)	<b>25</b> (0.276%)	<b>25</b> (0.289%)	<b>25</b> (0.279%)	<b>25</b> (0.274%)	<b>25</b> (0.269%)
当期の収益	23	18	18	25	25	25
当期の収益以外	1	6	6	—	—	—
翌期繰越分配対象額	958	951	946	952	960	967

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

# 今後の運用方針

(作成対象期間末での見解です。)

## ▶ アジア・ソブリン・オープン（毎月決算型）

引き続き、アジア・ソブリン・オープンマザーファンド受益証券を主要投資対象として運用を行います。マザーファンドの組入比率を引き続き高位に保ち運用を行っていく方針です。

## ▶ アジア・ソブリン・オープン マザーファンド

景気が堅調に推移しているマレーシアや相対的に高金利国のインド・インドネシアなどの債券組入比率を高く維持し、安定的な利子収入の確保を目指します。

利息収入と債券価格の変動を考慮して、当面のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）は期間末と概ね同程度とする予定です。デュレーションを調整するために、債券先物を使用する場合があります。

外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。外国通貨建債券に投資した場合には、原則として、実質的に債券発行国（アジア諸国・地域）の自国通貨建となるように為替予約、直物為替先渡取引などの為替取引を行います。

2025年1月23日～2025年7月22日

## 〉1万口当たりの費用明細

項目	第185期～第190期		項目の概要
	金額(円)	比率(%)	
(a)信託報酬	74	0.818	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率×(作成期中の日数÷年間日数)
(投信会社)	(42)	(0.469)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(30)	(0.327)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	( 2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)その他費用	11	0.122	(b)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保管費用)	(11)	(0.120)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監査費用)	( 0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	85	0.940	

作成期中の平均基準価額は、9,026円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

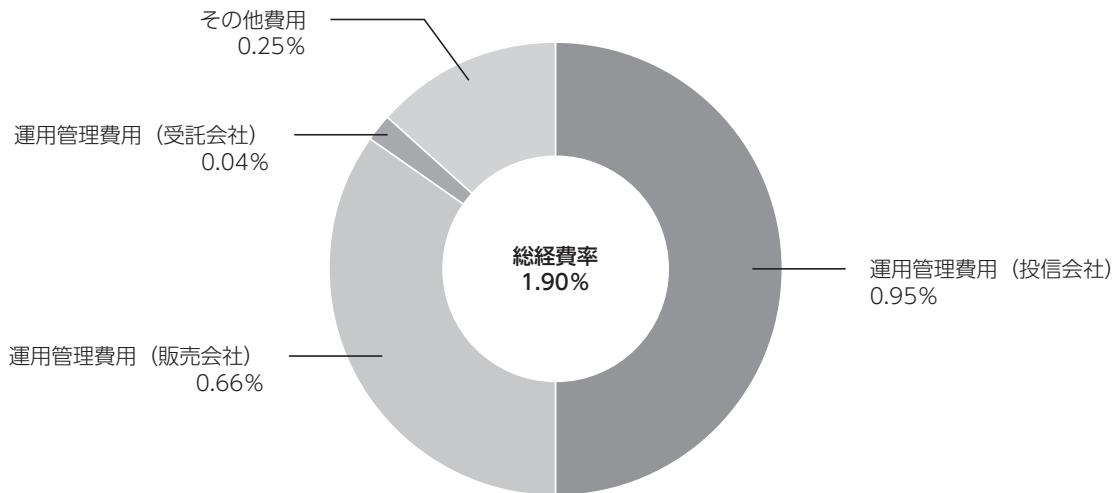
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

## (参考情報)

### ■総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.90%です。**



- (注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- (注) 各比率は、年率換算した値です。
- (注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2025年1月23日～2025年7月22日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第185期～第190期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アジア・ソブリン・オープン マザーファンド	千口 6,319	千円 18,560	千口 27,446	千円 80,412

## ○利害関係人との取引状況等

(2025年1月23日～2025年7月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2025年7月22日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	第184期末		第190期末	
	口 数	口 数	評 價 額	千円
アジア・ソブリン・オープン マザーファンド	千口 507,904	千口 486,777	千円 1,489,443	千円 1,489,443

## ○投資信託財産の構成

(2025年7月22日現在)

項 目	第190期末	
	評 價 額	比 率
アジア・ソブリン・オープン マザーファンド	千円 1,489,443	% 99.3
コール・ローン等、その他	11,246	0.7
投資信託財産総額	1,500,689	100.0

(注) アジア・ソブリン・オープン マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（1,454,749千円）の投資信託財産総額（1,489,769千円）に対する比率は97.6%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=147.47円	1ユーロ=172.33円	1シンガポールドル=115.12円	1マレーシアリンギット=34.875円
1タイバーツ=4.57円	1フィリピンペソ=2.5797円	100インドネシアルピア=0.91円	100韓国ウォン=10.66円
1インドルピー=1.72円	1中国元=20.5642円		

## ○特定資産の価格等の調査

(2025年1月23日～2025年7月22日)

## &lt;アジア・ソブリン・オープン マザーファンド&gt;

特 定 資 産 の 種 類	件 数
直物為替先渡取引	4

当作成期に、アジア・ソブリン・オープン（毎月決算型）の主要投資対象であるアジア・ソブリン・オープン マザーファンドにおいて行った取引のうち、「投資信託及び投資法人に関する法律」第11条に基づき価格等の調査が必要とされた資産の取引については、PwC Japan有限責任監査法人へその調査を委託し、調査報告書を受領しました。当該取引については、取引相手方の名称、通貨の種類、売買別、想定元本、満期日、その他当該取引の内容に関することについて調査を依頼しました。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第185期末	第186期末	第187期末	第188期末	第189期末	第190期末
	2025年2月25日現在	2025年3月24日現在	2025年4月22日現在	2025年5月22日現在	2025年6月23日現在	2025年7月22日現在
(A) 資産	円	円	円	円	円	円
コール・ローン等	1,493,072,333	1,481,836,722	1,401,583,184	1,453,250,671	1,478,080,955	1,500,689,043
アジア・ソブリン・オープン マザーファンド(評価額)	10,958,648	10,400,498	10,033,227	10,439,153	10,545,441	11,085,007
未収入金	1,481,740,917	1,469,470,134	1,391,460,128	1,442,604,445	1,466,612,879	1,489,443,140
未収利息	372,627	1,965,957	89,700	206,939	922,500	160,754
未収利息	141	133	129	134	135	142
(B) 負債	円	円	円	円	円	円
未払収益分配金	6,893,542	7,962,106	5,939,406	6,291,326	7,082,582	6,749,980
未払解約金	4,102,873	4,083,226	4,051,603	4,047,960	4,047,706	4,035,160
未払信託報酬	463,740	2,078,911	246	275,938	916,043	764,747
その他未払費用	2,320,750	1,795,192	1,882,548	1,962,203	2,113,210	1,944,895
その他未払費用	6,179	4,777	5,009	5,225	5,623	5,178
(C) 純資産総額(A-B)	1,486,178,791	1,473,874,616	1,395,643,778	1,446,959,345	1,470,998,373	1,493,939,063
元本	1,641,149,382	1,633,290,640	1,620,641,455	1,619,184,381	1,619,082,529	1,614,064,257
次期繰越損益金	△ 154,970,591	△ 159,416,024	△ 224,997,677	△ 172,225,036	△ 148,084,156	△ 120,125,194
(D) 受益権総口数	1,641,149,382口	1,633,290,640口	1,620,641,455口	1,619,184,381口	1,619,082,529口	1,614,064,257口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,056円	9,024円	8,612円	8,936円	9,085円	9,256円

## ○損益の状況

項目	第185期	第186期	第187期	第188期	第189期	第190期
	2025年1月23日～ 2025年2月25日	2025年2月26日～ 2025年3月24日	2025年3月25日～ 2025年4月22日	2025年4月23日～ 2025年5月22日	2025年5月23日～ 2025年6月23日	2025年6月24日～ 2025年7月22日
(A) 配当等収益	円 2,427	円 1,917	円 2,087	円 2,082	円 2,266	円 2,066
受取利息	2,427	1,917	2,087	2,082	2,266	2,066
(B) 有価証券売買損益	△ 29,539,986	693,953	△ 60,887,723	58,499,897	30,224,942	33,441,548
売買益	24,341	1,045,771	177,553	58,728,980	30,375,253	33,541,225
売買損	△ 29,564,327	△ 351,818	△ 61,065,276	△ 229,083	△ 150,311	△ 99,677
(C) 信託報酬等	△ 2,326,929	△ 1,799,969	△ 1,887,557	△ 1,967,428	△ 2,118,833	△ 1,950,073
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 31,864,488	△ 1,104,099	△ 62,773,193	56,534,551	28,108,375	31,493,541
(E) 前期繰越損益金	105,275,855	68,788,738	62,978,034	△ 3,824,148	48,467,969	72,164,871
(F) 追加信託差損益金	△224,279,085	△223,017,437	△221,150,915	△220,887,479	△220,612,794	△219,748,446
(配当等相当額)	( 41,799,657)	( 41,976,453)	( 41,972,838)	( 42,227,648)	( 42,708,893)	( 42,841,448)
(売買損益相当額)	(△266,078,742)	(△264,993,890)	(△263,123,753)	(△263,115,127)	(△263,321,687)	(△262,589,894)
(G) 計(D+E+F)	△150,867,718	△155,332,798	△220,946,074	△168,177,076	△144,036,450	△116,090,034
(H) 収益分配金	△ 4,102,873	△ 4,083,226	△ 4,051,603	△ 4,047,960	△ 4,047,706	△ 4,035,160
次期繰越損益金(G+H)	△154,970,591	△159,416,024	△224,997,677	△172,225,036	△148,084,156	△120,125,194
追加信託差損益金	△224,279,085	△223,017,437	△221,150,915	△220,887,479	△220,612,794	△219,748,446
(配当等相当額)	( 41,806,340)	( 41,983,649)	( 41,980,303)	( 42,234,378)	( 42,723,225)	( 42,847,454)
(売買損益相当額)	(△266,085,425)	(△265,001,086)	(△263,131,218)	(△263,121,857)	(△263,336,019)	(△262,595,900)
分配準備積立金	115,427,652	113,498,753	111,345,505	111,944,704	112,743,145	113,243,189
繰越損益金	△ 46,119,158	△ 49,897,340	△115,192,267	△ 63,282,261	△ 40,214,507	△ 13,619,937

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;注記事項&gt;

①作成期首(前作成期末)元本額 1,642,566,303円

作成期中追加設定元本額 28,594,906円

作成期中一部解約元本額 57,096,952円

また、1口当たり純資産額は、作成期末0.9256円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は120,125,194円です。

③分配金の計算過程

項目	2025年1月23日～ 2025年2月25日	2025年2月26日～ 2025年3月24日	2025年3月25日～ 2025年4月22日	2025年4月23日～ 2025年5月22日	2025年5月23日～ 2025年6月23日	2025年6月24日～ 2025年7月22日
費用控除後の配当等収益額	3,831,374円	3,042,887円	3,046,326円	5,023,046円	5,314,339円	5,113,020円
費用控除後・繰越欠損金償填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	41,806,340円	41,983,649円	41,980,303円	42,234,378円	42,723,225円	42,847,454円
分配準備積立金額	115,699,151円	114,539,092円	112,350,782円	110,969,618円	111,476,512円	112,165,329円
当ファンドの分配対象収益額	161,336,865円	159,565,628円	157,377,411円	158,227,042円	159,514,076円	160,125,803円
1万口当たり収益分配対象額	983円	976円	971円	977円	985円	992円
1万口当たり分配金額	25円	25円	25円	25円	25円	25円
収益分配金額	4,102,873円	4,083,226円	4,051,603円	4,047,960円	4,047,706円	4,035,160円

## 〇分配金のお知らせ

	第185期	第186期	第187期	第188期	第189期	第190期
1万口当たり分配金（税込み）	25円	25円	25円	25円	25円	25円

- 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- 分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

\*三義U F J アセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

### [お知らせ]

①投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。

(2025年4月1日)

②2025年4月に使用開始の交付目論見書、請求目論見書記載の「代表的な資産クラスの騰落率の平均値」について誤りがございました。

誤記載の内容および訂正内容については、下記の通りです。

記

<誤記載の箇所>

交付目論見書、請求目論見書の「ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較」のグラフのうち、「新興国債」の騰落率の「平均値」(2020年2月末～2025年1月末)

<訂正内容>

正：6.7

誤：6.6

# アジア・ソブリン・オープン マザーファンド

**《第32期》決算日2025年7月22日**

**[計算期間：2025年1月23日～2025年7月22日]**

「アジア・ソブリン・オープン マザーファンド」は、7月22日に第32期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第32期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	日本を除くアジア諸国・地域のソブリン債券（国債、政府保証債等）および準ソブリン債券（政府の出資比率が50%を超えてる企業の発行する債券）を中心に投資を行い、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	日本を除くアジア諸国・地域のソブリン債券および準ソブリン債券
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外貨建資産への投資は、制限を設けません。</li> <li>・ソブリン債券以外への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の35%以内とします。</li> <li>・同一企業が発行する債券への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。</li> <li>・同一国・地域が発行する債券への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の35%以内とします。</li> </ul>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	参考指數		債組入比率	債先物比率	純資産額
		期騰落	中率			
28期(2023年7月24日)	円 26,377	% 9.3		% 26,146	% 8.9	% 96.8
29期(2024年1月22日)	27,296	3.5		27,324	4.5	96.5
30期(2024年7月22日)	29,251	7.2		29,304	7.2	96.7
31期(2025年1月22日)	29,905	2.2		30,092	2.7	97.0
32期(2025年7月22日)	30,598	2.3		30,667	1.9	96.6

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 参考指数は、FTSE世界国債インデックスの現地通貨建て国別サブインデックス（シンガポール、マレーシア、フィリピン、インドネシア、韓国、台湾、タイ、中国）の基準日前営業日の各指数とJ.P. Morgan GBI-EM Broad India（インド・ルピー建て、ヘッジなし）の基準日前営業日の指数を基準日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により三菱UFJアセットマネジメントが円換算したうえ等ウエイトで合成し、当ファンド設定日を10,000として指数化したものです。なお、2022年8月1日以降、参考指数の国別サブインデックスの内、台湾を外し中国を追加して連続させて指数化しています。

各国の国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、各国国債の総合収益率を指数化した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨・販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

J.P. Morgan GBI-EM Broad India（インド・ルピー建て、ヘッジなし）：情報は、信頼性があると信じられる情報源から取得したものですが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指標は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指標を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2015, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 外国指標は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	参 考		債 組 入 比	債 券 先 物 比	券 率
		騰 落 率	指 数			
(期 首) 2025年1月22日	円 29,905	% —	30,092	% —	% 97.0	% —
1月末	29,874	△0.1	29,975	△0.4	96.9	—
2月末	28,971	△3.1	29,091	△3.3	97.0	—
3月末	29,244	△2.2	29,354	△2.5	96.4	—
4月末	28,553	△4.5	28,728	△4.5	96.3	—
5月末	29,606	△1.0	29,712	△1.3	96.6	—
6月末	30,001	0.3	30,097	0.0	96.1	—
(期 末) 2025年7月22日	30,598	2.3	30,667	1.9	96.6	—

(注) 謄落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

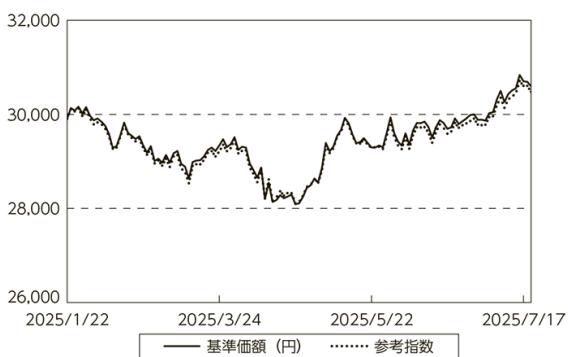
## ○運用経過

### ●当期中の基準価額等の推移について

#### ◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ2.3%の上昇となりました。

#### 基準価額等の推移



(注) 参照指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指  
数化しています。

### ●基準価額の主な変動要因

#### (上昇要因)

シンガポールやインドネシア、タイなど多くの投資国で金利が低下したことが、基準価額の上昇要因となりました。

#### (下落要因)

インドやインドネシアなどの通貨が対円で下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

### ●投資環境について

#### ◎債券市況

- 多くの投資対象国・地域の金利は低下しました。
- インドやインドネシアなどでは、インフレ率が低下したことにより中銀が利下げを行ったことなどから、金利は低下しました。
- 中国では、旧正月明けに市中資金が吸収されたことや、財政支出を拡大する政策を示したことなどから、金利は上昇しました。

## ◎為替市況

- ・投資対象国・地域の通貨は円に対してまちまちな動きでした。
- ・マレーシアリングットは、貿易関税の引き上げにより中国系企業などによる対米輸出への課税強化が懸念されたものの、建設関連など国内景気が堅調に推移していることなどから、対円で小幅に上昇しました。
- ・フィリピンペソは、経常赤字が続いていることや中銀が利下げを行ったことなどから、対円で下落しました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・日本を除くアジア諸国・地域のソブリン債券（国債、政府保証債、国際機関債などをいいます。）および準ソブリン債券（政府の出資比率が50%を超えている企業の発行する債券をいいます。）を主要投資対象とし、これらの債券を高位に組み入れて運用しました。
- ・マレーシアやインド、インドネシアなどの債券組入比率を高めました。
- ・外貨建資産について、対円での為替ヘッジは行いませんでした。なお、米ドル建債券等の外国通貨建債券に投資した場合には、実質的に債券発行国（アジア諸国・地域）の自国通貨建てとなるように為替予約、直物為替先渡取引（NDF）などによる為替取引を行いました。

※直物為替先渡取引とは、一種の外国為替先渡取引であり、決済時に元本の受け渡しを行わずに、取引時に決定した取引レートと決済レートの差および元本により計算した額を、米ドルなどに換算して、受け渡しを行う取引です。

## ○今後の運用方針

- ・景気が堅調に推移しているマレーシアや相対的に高金利国のインド・インドネシアなどの債券組入比率を高く維持し、安定的な利子収入の確保を目指します。
- ・利息収入と債券価格の変動を考慮して、当面のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）は期間末と概ね同程度とする予定です。デュレーションを調整するために、債券先物を使用する場合があります。
- ・外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。外国通貨建債券に投資した場合には、原則として、実質的に債券発行国（アジア諸国・地域）の自国通貨建となるよう以為替予約、直物為替先渡取引などの為替取引を行います。

## ○ 1万口当たりの費用明細

(2025年1月23日～2025年7月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用  ( 保 管 費 用 )	円  (35)	%  (0.120)	(a) その他費用＝期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数  有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	35	0.120	
期中の平均基準価額は、29,434円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2025年1月23日～2025年7月22日)

## 公社債

			買付額	売付額
外 国	アメリカ	特殊債券	千アメリカドル —	千アメリカドル 205
	シンガポール	国債証券	千シンガポールドル 212	千シンガポールドル —
	タイ	国債証券	千タイバーツ —	千タイバーツ 11,253
	韓国	国債証券	千韓国ウォン 411,553	千韓国ウォン 212,419
	インド	国債証券	千インドルピー 52,540	千インドルピー 52,050
	中国	国債証券	千中国元 1,114	千中国元 1,357

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

## スワップ及び先渡取引状況

種類	取引契約金額
直物為替先渡取引	百万円 115

## ○利害関係人との取引状況等

(2025年1月23日～2025年7月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2025年7月22日現在)

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
シンガポール	千シンガポールドル 1,450	千シンガポールドル 1,495	千円 172,161	% 11.6	% —	% 11.6	% —	% —
マレーシア	千マレーシアリンギット 7,000	千マレーシアリンギット 7,304	千円 254,751	% 17.1	% —	% 17.1	% —	% —
タイ	千タイバーツ 27,000	千タイバーツ 29,886	千円 136,579	% 9.2	% —	% 9.2	% —	% —
フィリピン	千フィリピンペソ 70,000	千フィリピンペソ 70,119	千円 180,886	% 12.1	% —	% 8.5	% 3.6	% —
インドネシア	千インドネシアルピア 24,000,000	千インドネシアルピア 24,157,571	千円 219,833	% 14.8	% —	% 14.8	% —	% —
韓国	千韓国ウォン 1,400,000	千韓国ウォン 1,488,951	千円 158,722	% 10.7	% —	% 10.7	% —	% —
インド	千インドルピー 128,000	千インドルピー 132,279	千円 227,521	% 15.3	% —	% 15.3	% —	% —
中国	千中国元 4,000	千中国元 4,279	千円 87,995	% 5.9	% —	% 4.5	% 1.5	% —
合計	—	—	千円 1,438,452	% 96.6	% —	% 91.5	% 5.1	% —

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末				償還年月日	
		利 率	額面金額	評 価 額	外貨建金額		
シンガポール		%	千シンガポールドル	千シンガポールドル	千円		
	国債証券	1.875 SINGAPORGOV 511001 2.375 SINGAPORGOV 390701 2.75 SINGAPORGOT 420401 3.375 SINGAPORGOV 330901	1.875 2.375 2.75 3.375	400 400 150 500	374 409 161 550	43,146 47,084 18,614 63,316	
	小 計					2051/10/1 2039/7/1 2042/4/1 2033/9/1	
マレーシア			千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット			
	国債証券	2.632 MALAYSIAGOV 310415 3.582 MALAYSIAGOV 320715 3.828 MALAYSIAGOV 340705 4.232MALAYSIAGOV 310630 4.642 MALAYSIAGOV 331107 4.893 MALAYSIAGOV 380608	2.632 3.582 3.828 4.232 4.642 4.893	1,000 1,000 1,000 2,000 1,000 1,000	963 1,014 1,025 2,090 1,083 1,127	33,589 35,369 35,763 72,918 37,802 39,307	2031/4/15 2032/7/15 2034/7/5 2031/6/30 2033/11/7 2038/6/8
	小 計					254,751	
タイ			千タイバーツ	千タイバーツ			
	国債証券	1.585 THAILAND 351217 3.39 THAILAND 370617 3.775 THAILAND 320625	1.585 3.39 3.775	10,000 7,000 10,000	10,057 8,302 11,525	45,964 37,942 52,673	
	小 計					136,579	
フィリピン			千フィリピンペソ	千フィリピンペソ			
	国債証券	5.75 PHILIPPINE 280307 6.25 PHILIPPI(GL) 360114 8.625 PHILIPPINE 270906	5.75 6.25 8.625	5,000 50,000 15,000	4,995 49,268 15,855	12,888 127,096 40,901	
	小 計					180,886	
インドネシア			千インドネシアルピア	千インドネシアルピア			
	国債証券	6.625 INDONESIA 330515 6.625 INDONESIA 340215	6.625 6.625	22,000,000 2,000,000	22,141,240 2,016,331	201,485 18,348	
	小 計					219,833	
韓国			千韓国ウォン	千韓国ウォン			
	国債証券	2.875 KOREA TREAS 440910 3.25 KOREA TREASU 330610 3.25 KOREA TREASU 530310 3.5 KOREA TREASUR 340610 4.25 KOREA TREASU 321210	2.875 3.25 3.25 3.5 4.25	200,000 200,000 500,000 200,000 300,000	200,509 205,869 544,386 209,518 328,668	21,374 21,945 58,031 22,334 35,036	
	小 計					2044/9/10 2033/6/10 2053/3/10 2034/6/10 2032/12/10	
インド			千インドルピー	千インドルピー			
	国債証券	6.54 INDIA GOVT 320117 7.18 INDIA GOVT 330814	6.54 7.18	50,000 50,000	51,012 52,510	87,741 90,317	
	特殊債券	7 IADB 330417 7.35 IADB 301006	7.0 7.35	12,000 16,000	12,276 16,481	21,114 28,347	
	小 計					2032/1/17 2033/8/14 2033/4/17 2030/10/6	
中国			千中国元	千中国元			
	国債証券	2.28 CHINA GOVT 310325 2.47 CHINA GOVT 540725 2.62 CHINA GOVT 300625	2.28 2.47 2.62	1,000 1,000 1,000	1,036 1,115 1,051	21,317 22,935 21,617	
	小 計					2031/3/25 2054/7/25 2030/6/25	

銘 柄	当 期 末						
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
中国	%	千中国元	千中国元	千円			
国債証券	2.67	CHINA GOVT 331125	2.67	1,000	1,075	22,126	2033/11/25
小計					87,995		
合計					1,438,452		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## ○投資信託財産の構成

(2025年7月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 1,438,452	% 96.6
コール・ローン等、その他	51,317	3.4
投資信託財産総額	1,489,769	100.0

(注) 期末における外貨建純資産（1,454,749千円）の投資信託財産総額（1,489,769千円）に対する比率は97.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=147.47円	1 ヨーロ=172.33円	1 シンガポールドル=115.12円	1 マレーシアリンギット=34.875円
1 タイバーツ=4.57円	1 フィリピンペソ=2.5797円	100 インドネシアルピア=0.91円	100 韓国ウォン=10.66円
1 インドルピー=1.72円	1 中国元=20.5642円		

## ○特定資産の価格等の調査

(2025年1月23日～2025年7月22日)

特 定 資 産 の 種 類	件 数
直物為替先渡取引	4

当期に、当ファンドにおいて行った取引のうち、「投資信託及び投資法人に関する法律」第11条に基づき価格等の調査が必要とされた資産の取引については、PwC Japan有限責任監査法人へその調査を委託し、調査報告書を受領しました。当該取引については、取引相手方の名称、通貨の種類、売買別、想定元本、満期日、その他当該取引の内容に関するについて調査を依頼しました。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年7月22日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円
コレ・ローン等	1,517,766,533
公社債(評価額)	31,781,805
未収入金	1,438,452,826
未収利息	27,997,412
前払費用	16,758,564
(B) 負債	2,775,926
未払金	28,341,592
未払解約金	28,180,838
(C) 純資産総額(A-B)	160,754
元本	1,489,424,941
次期繰越損益金	486,777,940
(D) 受益権総口数	1,002,647,001
1万口当たり基準価額(C/D)	486,777,940円
	30,598円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 507,904,345円  
 期中追加設定元本額 6,319,761円  
 期中一部解約元本額 27,446,166円  
 また、1口当たり純資産額は、期末3,0598円です。

②期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）

アジア・ソブリン・オープン（毎月決算型） 486,777,940円

## ○損益の状況 (2025年1月23日～2025年7月22日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円
受取利息	32,699,680
その他収益金	32,577,805
(B) 有価証券売買損益	121,875
売買益	1,223,208
売買損	50,099,429
(C) 先物取引等取引損益	△ 48,876,221
取引益	249,100
取引損	657,324
(D) 保管費用等	△ 408,224
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△ 1,761,240
(F) 前期繰越損益金	32,410,748
(G) 追加信託差損益金	1,010,962,062
(H) 解約差損益金	12,240,929
(I) 計(E+F+G+H)	△ 52,966,738
次期繰越損益金(I)	1,002,647,001
	1,002,647,001

(注) (B) 有価証券売買損益および(C) 先物取引等取引損益は期末の評価換算によるものを含みます。

(注) (G) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (H) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## [お知らせ]

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。  
 (2025年4月1日)